

市場調査資料新刊の御案内

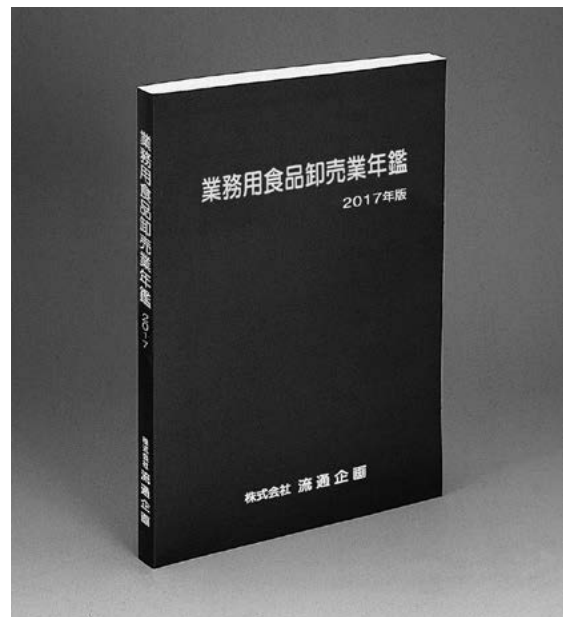
業務用食品卸売業年鑑 2017年版

- ・ 外食産業、給食産業、惣菜業者等へ食材を供給する業務用食品卸売業
- ・ 年商1億円以上1,209社の状況
- ・ 総合食品問屋等の業務用部門及び「業務用スーパー」、「業務用キャッシュ&キャリアー」の状況
- ・ 収録社数と分析内容で他をリードする「業務用食品問屋」資料の決定版！

- 定価 ①PDF版：80,000円(税別)
②書籍版：90,000円(税別)
③CD-ROM版：135,000円(税別)
- 発刊 2017年3月

本資料の特色

1. 収録1,209社の内訳は、業務用食品問屋（外食卸・給食卸）577社、業務用酒類卸321社、珈琲焙煎業者91社、製菓・製パン・食品材料卸80社、その他の卸（冷凍食品卸等）102社。
これに加えて、大手総合食品問屋等30社の業務用食品取扱状況、及び「業務用食品スーパー」専業4社、「業務用キャッシュ&キャリアー」専業4社の状況を掲載。
2. 業務用専業問屋7社4グループの都道府県別営業拠点と関連会社一覧、大手専業問屋20社の営業拠点一覧、業務用C&C15社（260店）と業務用スーパー6社（905店）の企業別店舗一覧を掲載。
3. 掲載企業は日本外食流通協会等加盟の「外食卸」や日本給食品連合会等加盟の「給食卸」等、「業務用食品卸」関連団体・グループ加盟企業を網羅。
4. 業務用食品問屋を「全国レベル」と「都道府県レベル」に分けて集計分析。各企業の全国での位置付け、県内での競争力が明確にわかる。また各企業を5業態に分けて、ランキング化している。
5. 業務用食品卸を取り巻く環境は、先行き不透明な状況にあり、本格的な景気回復には至っていない。
販売先である外食業界、給食業界、中食業界においては、食材価格の上昇や人手不足の深刻化など、依然として厳しい経営環境が続いている。
業務用食品卸業界では、企業の買収、営業譲渡、合併、グループ化といった「再編」が急速に進む流れに大きな変化はない。
今後、大手広域業務用食品卸と各地域密着型卸との競合激化が一段と進む。また、市販用卸や異業種企業との競合もあり、地域業務用食品卸は岐路に立たされている。
6. 家庭での外食消費の状況、外食産業の動向等「業務用食品問屋」を取巻く環境の変化及び関連資料をもれなく収録。



業務用食品問屋への営業活動を行うメーカー、商社各位の販売促進のための基礎資料として、また業務用食品卸売業の経営戦略策定のための資料としてご活用下さい。
ご購入の検討の程、よろしくお願ひ申し上げます。

<地区別収録企業数>

北海道：51	北陸：44	四国：42
東北：85	東海：157	九州：107
関東：388	近畿：214	
甲信越：57	中国：64	合計：1,209社

発刊要領

- 発刊日：2017年3月3日
- 資料体裁：A4版320頁
- 定価：①PDF版：80,000円(税別)
②書籍版：90,000円(税別)
③CD-ROM版：135,000円(税別)

- ①PDF版：印刷・編集・加工・抽出は不可です。
- ②書籍版：PDF版（印刷可）とのセット販売です。
- ③CD-ROM版(Excel, Word)：書籍版とのセット販売です。

※ 本資料は書店では取り扱っておりません。
直接お申込み下さい。

【ホームページ】 <https://www.ryutsukikaku.co.jp>

【E-mail】 info@ryutsukikaku.co.jp

申込方法

- 同封の申込ハガキ（切手不要）またはFAX申込用紙（別紙裏面）に所定事項をご記入の上、ご返送下さい。
- 電話及び弊社ウェブサイト上からのお申し込みも、お受けしております。
- 申込書受領後、調査資料（書籍、CD-ROM）と請求書を送付いたします（送料は当社負担）。
- お支払いは、銀行振込または郵便振替でお願いします。
カミマエツ
三菱東京UFJ銀行 上前津支店（普通）1229308
三井住友銀行 上前津支店（普通）6315513
ゼロハチキューウ
ゆうちょ銀行 0八九店（当座）0130557

申込先・問い合わせ先

株式会社 流通企画

〒460-0011 名古屋市中区大須4-13-46 ウィストリアビル2F
TEL：052-242-1281 FAX：052-242-1284
業務用食品担当：林 典次

